

インフルエンザ2005

院長

昨年、例年より早い時期にインフルエンザが診断され、早い流行が危惧されましたが流行には至りませんでした。むしろ、今シーズンの流行は遅く、例年と比べ3週間程度のずれがあります。2月下旬から次第に増加し、現在ではインフルエンザ警報が出そうな勢いです。

流行の時期だけでなく、型別の流行にも例年と異なることがあります。普通12月下旬頃からA型の流行が始まり、1月中～2月初旬がピークになります。B型はA型のピークから遅れて流行が始まり、時にはピークも持たずだらだらと続く場合もあります。今年はA型の流行のピークがずれただけでなく、A型とB型が混合して流行してきました。むしろA型の流行の規模はさほど小さくなく、B型が優位になってきています。1月の患者さんの数は非常に少なく、開業以来もっとも少ない年でした。

また、あくまでも推測の域を出ていませんが、抗インフルエンザ薬（タミフル）がB型で効きが悪いような印象です。抗インフルエンザ薬を投与しても、熱が下がらないばかりか咳などの症状にほとんど効果がない場合もあります。実際、あちこちでこの話題が出ますが、その理由についてははっきりしていません。原因については、今後の検討が待たれるところです。

毎年インフルエンザの話題がですが、今年はインフルエンザにおける医師の役割を考えてみましょう。インフルエンザが流行すると急患センターが、多く人でごった返します。その多くの方は、診断を求に来るのです。その診断の根拠が検査であるという誤解から、検査を求めるのだと思います。インフルエンザに限らず、検査は基本的には補助的なものです。医師が病歴を聞き、経過や診察によって病気を診断します。その病気の診断を裏付けるために、必要な場合には検査を行います。インフルエンザの場合を考えてみましょう。インフルエンザは、急に高熱がでて倦怠感、頭痛、咽頭痛や節々の痛みなどの全身症状と咳や鼻水などの呼吸器症状がほぼ同時に現れるのが典型的です。大人では特徴的な症状を来すので診断が容易ですが、子どもでは典型的ではないことがあります。また、次に重要なのは周囲での流行状況です。保育園、幼稚園や学校で流行している、親御さんが1～2日前に高熱が出たなどが参考になります。診察によって他の発熱疾患を除外し、インフルエンザの可能性を推測します。インフルエンザの場合は高熱にもかかわらず、のどの赤みが少ないことがポイントにな

ります。そしてインフルエンザの可能性が高いにもかかわらず、判断が難しい場合は検査ということになるのです。昨年も話しましたが、検査にも問題があります。検査が陽性になるためには、ある程度の時間（6～8時間）が必要です。当院では症状が典型的で、周囲に流行があれば、検査をしないでインフルエンザと診断することもあります。しかし、検査が必要と思われる場合や希望する場合でも、発熱後時間が経過していない場合は、かぜ薬と解熱剤を用い（抗生物質は使用しません：インフルエンザに効果はありません）、半日程度様子をみます。そして経過を見極めて、必要なら検査をして診断するのです。中には、次の日には全く症状が無くインフルエンザの可能性が否定されることも珍しくはありません。このような方針の目的は、不必要な検査による苦痛避けるとともに、不必要な抗インフルエンザ薬の投与を避けることが目的です。

検査をして陰性だけでも抗インフルエンザ薬を処方されたということを経々耳にします。検査には偽陰性もあることも確かです。痛い検査をして陰性にもかかわらず薬を投与するのであれば、最初から検査しないで薬を投与するのが本来の医師の仕事だと思っています。微熱で検査をしたら陽性なので抗インフルエンザ薬を処方されたというのもあります。しかし、どうでしょう。インフルエンザにも、軽症重症があります。症状が軽いのに、わざわざ病名を付けて、治療する意味や必要があるのでしょうか。検査が無い時代であれば、カゼとして済ませられたのかもしれませんが。このようなことは、「インフルエンザでは早く検査をして早く治療しなければならぬ」ということが、独り歩きしているためです。状況によっては、検査や薬の処方もしないこともあるのです。もう一つ家族で流行した時に、家族の何人もが検査をされることがあります。病院によっては、次々かかった場合全員が検査されることがあります。一人が確定診断されていれば、家族の中で流行はインフルエンザに決まっています。このような場合は、検査をせずに治療を始めることがほとんどです。何も痛い思いをするのは一人です。以前検査したお子さんで、綿棒見ただけで恐怖におののく、インフルエンザの検査はそんな検査なのです。

インフルエンザを通して、もう一度医師の仕事というものを考えてみてください。医師は単なる臨床検査技師（技師さんごめんなさい）ではありません。我々医師は、様々なことまで考えて判断していることも覚えておいてください。

読者の広場

先月は23通のメールを頂きました。たまたま転居した患者さんから2通頂きましたので、紹介します。まずは千葉県の新村さんからです。「こんにちは。千葉の新村綾子の母です。仙台を引っ越してからもうすぐ5年。綾子も春から3年生です。私も仕事を再開し、スポーツクラブに通ったり、PTAの役員をやったりと、前からすると信じられない程、行動範囲が広がりました。それも子供が成長した証ですね。おかげさまで綾子も元気です。仙台にいる頃、あんなにクリニックに通っていたのが信じられないくらいです。何かある度に今でも先生の言葉を思い出し、励みにしています。あまりに頻りに綾子が風邪をひくのでつい弱音を吐いたら「お母さん、人が一生にひく風邪の回数なんて同じくらいなんですよ。今、たくさんひいてるってことは、これからひく回数は少ないですよ」その言葉がどれだけうれしかったことか！そのせいかな？今はめっきり風邪をひく回数も減りました。風邪の時期、先生もお体に気をつけてたくさんのお子さんやお母さん方の味方になってくださいね。」。転居してから2通目です。5年経ってもメール頂くなんで、本当に有り難いことです。返事にはこんなことを書きました。「そんなもんですよ。病気はやはり小さいうちが多いのです。そして免疫が付き、次第にかからなくなります。もう5年も経ちましたか？。月日の経つのは早いものです。この5年の子どもの進歩は目を見張るものがあると思います。それに負けず、我々も少しでも進歩したいものです。また何かあれば、メールくださいね。新聞にこのメール乗せるかもしれません。本当にありがとうございます。」。いつも書きますが、子どもの進歩というのは、本当にすごいですね。自分なんかは、もう退化する一方です。退化することに少しでも抵抗するために、新聞作っているのです。続いては北海道に転居した、偶然にも同じ新村さんです。「ご無沙汰しております。新村浩一郎、哲也の母です。おかげさまで子どもたちは元気に学校へ行っています。今日はすごい吹雪です。苫小牧は雪が少ないところらしいのですが今年が多いようです。慣れない雪かきに奮闘しています。先生は相変わらず、お忙しい日々を送っていらっしゃることでしょね！！どうぞ、くれぐれもお身体ご自愛くださいませ。こちらで浩一郎が病院にかかりましたが先生だったら違う対応なんだろうな...といけないと思いながら比べている私がおりました。本当にお世話になりありがとうございました。」。雪まつりのトーマスと一緒に哲ちゃんの写真も送っていただきました。写真もいただけると、余計に実感が湧いてきます。医師によって少しずつ対応が違うものです。自分は、たまたまこんな対応をしているだけです。遠いところからのメール、本当にありがとうございました。



BCGに関する緊急のお知らせ

以前からお知らせしていましたが、4月1日から結核予防法が改正されます。ツ反が廃止されBCG接種は生後6か月未満の乳児のみが対象となります。

生後3か月以上4歳未満で、まだBCG接種を受けていないお子さんは、3月31日までに必ず受けるようにして下さい。6ヶ月以降の児は自費接種（有料）となります。詳しくは、院内掲示、スタッフで御確認ください。

スマトラ沖地震救援金の案内と報告

待ち合い室に募金箱を設置致しました。よろしく、ご協力をお願い致します。

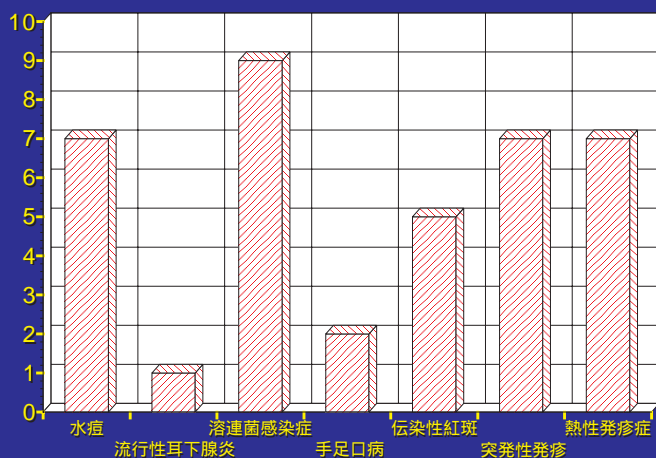
・日本ユニセフ協会

郵便振替 口座 00110-5-79500

通信欄にスマトラ沖地震救援と書けば、手数料は無料になります。

ご協力頂きました、義援金は8,515円になりました。皆様の善意に感謝致します。ほんとうに、ご協力ありがとうございました。クリニックの1万円加えて送ります。

2月の感染症の集計



先月くらべると、全ての感染症が減少しています。グラフには示しません、嘔吐下痢症も半分以下の24人に減少。しかしインフルエンザは36人から208人へと大幅に増加しています。インフルエンザが流行すると、他の感染症は影を潜めるようです。

3月のお知らせ

- ・栄養育児相談
毎週水曜日 13:30~
栄養士担当 参加無料
- ・お母さんクラブ
4月からの新会員募集中です。

編集後記

やっと冬らしい季節になりました。1月の暇さ加減にはうんざり（失礼）。先日、足を骨折してから、4年振りにスキーに行ってきました。密かにトレーニングしているせいか、息子に大丈夫と太鼓判を押してもらいました。無理ない程度で、迷惑をかけない程度に楽しみたいと思います。



K's clinic

東北放送ラジオ 毎月奇数木曜日 「漢太のウキウキラジオ」 13:10~ レギュラー出演中

「小児科がやさしく教える 赤ちゃん・子どもの病気」 残部少なくなりました。購入はお早めに！！